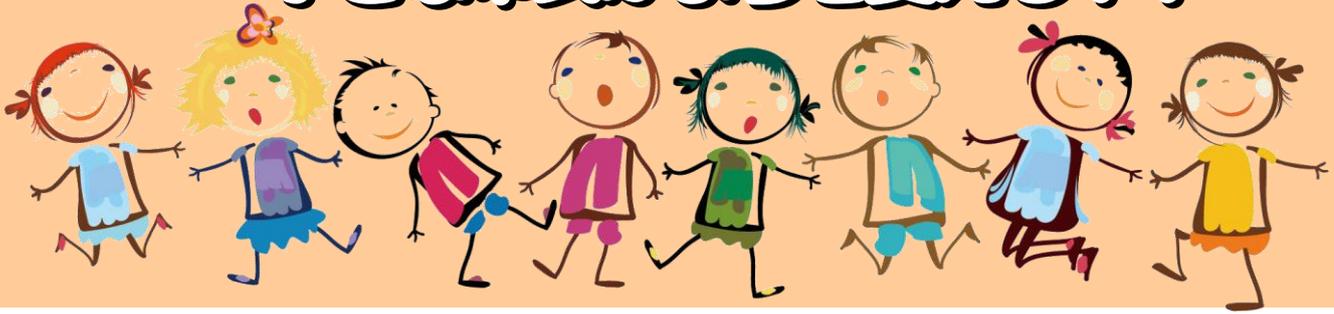


大人主導から子ども主体の子ども支援へ 小さな市民がまちを変える！！



少子高齢化が加速する中、全ての人が、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるために、地域の繋がりがや見え合いの大切さが改めて見直されています。子どもが地域の中で安心して育つために、子どもを主体とした支援について、八王子市子ども家庭部の職員の方々にお話を伺いました。

大人主導の子ども支援

自然豊かな八王子は、子育てには理想的な環境です。そうした環境の中で、子どもたちが社会性や豊かな感性を育むために、五感を使った体験の機会の充実を、八王子市では重点施策の一つとして挙げています。

しかし、子どもを取り巻く環境は、市の目指す姿と地域の現状に、隔たりがあるようです。ある団地内の公園では、砂場には猫の侵入を防ぐためのフェンスで囲いがされ、ボール遊びは危険だからと禁止、また遊ぶ声がうるさいという近隣の苦情から、自由に遊べない子どもたちがいます。地域の中で安全にのびのびと育つためには、地域の見守りはかせませません。しかし安全性に過敏になり過ぎてしまったり、大人の都合が優先されたりと、見守りの難しさを感じます。

「子どもの参加する」権利の実践

子どものしあわせ課長の平塚裕之さんは、大人主導のまちづくりに、子どもを巻き込むことの大切さを指摘します。「機会があれば、子どもは自分の

まちについて考

え、意見を発表する力があります。危険だからと禁止するだけではなく、自分たちで考える経験が大切です。



八王子市子ども家庭部の職員の方々

何より弱い立場の子どもの声を尊重することは、誰にとっても優しいまちづくりに繋がると思います」これは、子どもの権利条約の一つ、「子どもの参加する権利」の実践であり、八王子市の子ども育成計画の中にも取り上げられているそうです。

地域にもたらす影響

高齢者や障害者などに関することは、当事者の視点が尊重されるようになってきましたが、子どもに関しては大人が主導です。学校では、自分たちで考え、決める教育を受けているにも関わらず、せっかく学んだことを地域で活かす場がないと平塚さんはいいます。公園を利用する子どもたちが、ルールを考える場に大人と一緒に参加でき

れば、お互いの様子が分かります。普段の遊びを通し、危険や近隣への迷惑などを考え、発言することもできるでしょう。学校以外の体験は、地域への愛着に繋がります。そしてこうした場がきっかけとなりできた顔が分かる関係は、公園で遊ぶ「声」の感じ方も変えることができるかもしれません。

主体性を引き出す支援

主体的に子どもが関わる地域は、希薄になりがちに繋がりに、一体感を生み出します。中野児童館長の井垣利朗さんは、子どもの主体性を引き出すためには、継続した支援の中で築く、大人との間の信頼関係が大切だといいます。それは、簡単なことではありませんが、寄り添い、継続した支援が可能になれば、子どもたちは、まちへの愛着を持ち、大人になった時には、次の世代を支える支援者となるでしょう。小さな市民は、まちを変える原動力となる可能性を秘めています。そのためにも、まちに関心が持てるような働きかけをする支援が期待されます。

「子ども意見発表会」から、子ども主体の支援の在り方を学ぶ

子どもにとって、自分の意見が地域で受け止められる経験は、大きな自信となり、地域への愛着に繋がります。そこで子どもがまちについて考え、意見を発表する場である、八王子市の「子ども意見発表会」をご紹介します。主体的に関わる子どもたちを支える、児童館の活躍がそこにはあります。



大学生のサポートを受け、自分たちの意見を練り上げる子どもたち

子ども意見発表会の特徴

▼地域の大人が関わる仕組みの存在▼

児童館の地域ネットワーク力により子どもたちと地域の大人を繋ぐ。

子どもの意見を活かすためには、子どもと地域どちらからも信頼される団体の存在が必要です。

子どもの自主性を引き出すためには、大人と子ども間に信頼関係を築くことが大切。そのためには、継続的な関わりができる団体が必要です。

▼子どもの自発的かつ継続的な活動▼

地域づくりに興味を持った子どもが、自発的に参画するために、子どもが自発的・自主的に集まる児童館が中心となる。活動を継続させるために、児童館職員と子どもたちの間に信頼関係を築いている。

学生サポーターの育成のための研修等の仕組みが必要です。

▼学生リーダーの育成▼

子どもたちの支援をする学生サポーターが、子どもたちの主体性を第一に、支援するスキルを習得するために研修を行なう。学生サポーターは、子ども委員から、継続する学生も多く、子どもたちからの信頼関係を作りやすい。

学生サポーターは、子どもと大人を繋ぎ、子どもの考えを引き出す役割と、子どもたちが、学生サポーターとなり、いずれは支援者として地域を支える大人へと、活動を継続することを可能とします。

子ども意見発表会の軌跡

『八王子市子どもすこやか宣言普及啓発事業』として、「主体的に活動に参加できる機会を確保」することを目的に、平成13年から「子どもが意見を言える場」として、「子ども議会」「子どもミーティング」「子ども意見発表会」と形式を変えながら開催。平成25年から始まった「子ども意見発表会」は児童館を中心に、小学校5年生から高校生の子どもの意見を尊重した『子どもにやさしいまちづくり』を目指し開催しています。

まちのトピック

「子どものSOSを^{すく}あげたい」想いをカタチに!!

不登校になった子どもが、自分らしく過ごせるフリースクール「**昼間の塾 フレップ**」が、この春、元横山町に開校しました。「子どもたちの声なきSOSを^{すく}あげたい」という想いを、「フリースクール」というカタチで実現した、代表の朴未来（パク ミレ）さんをご紹介します。

不登校の子どもたちの居場所

「フレップ」には、小学校高学年から中学生を中心とした6人の子どもたちが在籍しています。20代の朴さんは、東京学芸大学教育学部を卒業し、塾講師や中学校通級学級美術講師の経験を活かし、同世代でも大人でもない、「お姉さん」というナナメの存在として、学校に行



代表 朴未来（パク ミレ）さん

けない子どもたちに、安心して過ごせる居場所を提供しています。

子どもたちが困難にぶつかっても、乗り切っていくためには、自分に自信を持ち、自分を好きになることが大切だという朴さん。「フレップ」は、絵を描いたり、遊んだり、

もちろん勉強したい子は勉強と、一人ひとりが主体となって過ごし、自分を大切にすることを学びます。

目指すこと

「将来、学校内にも活動を広げ、子どもたちに寄り添い、SOSを^{すく}あげられるために、社会福祉士の勉強をしています。先生でもなくカウンセラーでもない、教育実習生みたいな存在でしょうか。そのためには、学校、行政、や企業等と連携し、ボランティアではなく、収入を得られる活動にしなければいけないと思っています」と、目を輝かせる朴さん。明確なビジョンの実現に向け、将来を見据えている朴さんのこれからの活動が楽しみです。

昼間の塾 フレップ 詳しくは：<http://frep.jp/>



朴未来さん作



人財支援「プロボノ」プログラム説明会

皆さんの時間、スキルなど、「小さなできる」を市民活動に活かすために、プログラムの内容、参加方法等を分かりやすく説明します。

「プロボノ」って、誰でも参加できるの？
どのように進めるのかな？

仕事しながらでもできるのかな？

など、皆さんの疑問にお答えします。興味のある方、関心のある方は、まずは説明会にご参加ください。

・・・人財支援プログラム説明会・・・

日 時：9月25日（日）13：30～14：30

会 場：NPO さぼーと802

申込先：NPO さぼーと802

（八王子市市民活動支援センター）

TEL042-646-1577

FAX042-646-1587

メ-ル npo802@shiencenter-hachioji.org

★「オトパ in 南大沢」人材支援ブースを出展します
当日会場に直接ご来場ください

日 時：9月4日（日）13：00～15：30

会 場：南大沢文化会館2階交流ホール

人財支援「プロボノ」プログラム 東京都の伴走支援決定！！



向上セミナーの様子

いよいよ始まった人財支援「プロボノ(※1)」プログラムは、「東京ホームタウンプロジェクト(※2)」の中間支援力強化のための伴走支援を受け、事務局としてのノウハウをNPO法人サービスグラント(※3)から学ぶことになりました。7月20日には、地域コーディネータカ！ 向上セミナー「プロボノコーディネート編」に早速参加しました。NPO さぼーと802では、今後もこのような強力な援護、協力のもとで、地域の活性化に繋がるよう人財支援「プロボノ」プログラムに取り組みます。

※1 ラテン語の“pro bono publico”（公共善のために）の略。仕事で培った知識やスキル、経験を活用したボランティア活動を指す言葉で、近年、日本でも新しい社会貢献のあり方として注目を集めている

※2 東京都福祉保健局の地域包括ケアシステムの構築を目的としたプロジェクト

※3 ビジネススキルや専門知識を活かして、社会的課題解決に取り組む非営利組織（NPO・地域活動団体等）の基盤強化を支援する「プロジェクト型助成」を行なっている



NPO 法人
サービスグラント
代表 嵯峨生馬さん

スタッフ紹介



4月からセンタースタッフとなりました。主に、八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」を担当しております。「はちコミねっと」は、地域での様々な活動に誰でも気軽に参加できる環境を整え、市民活動の活性化を図るため、八王子市が開設したサイトです。八王子市内を中心とする様々な市民活動団体（要登録）からの情報発信をしており、誰でもサイト上から、メールマガジンから、様々な情報を得ることができます。「はちコミねっと」を有効活用し、八王子の市民活動が今よりもっと活性化するようお手伝いをしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

上野由紀子

助成金情報

詳しくは、NPO さぼーと802 にお問合せいただくか、はちコミねっとのサイトをご覧ください

名称	主催	助成対象	助成金額	締切
JTB交流文化賞 組織・団体部門	JTB 交流文化賞事務局	持続可能な観光の 取り組み事例	100万円 20万円等	9/15(木) 消印有効
ボランティア活動助成	公益財団法人 大和証券福祉財団	高齢者、子ども等 ボランティア活動	上限 30万円	9/15(木) 消印有効
ボランティア活動等に 関する調査研究助成	公益財団法人 大和証券福祉財団	ボランティアや地域福祉 に関する調査研究	上限 100万円	9/15(木) 消印有効
高齢者職域 開拓モデル事業	公益財団法人 東京しごと財団	高齢者職域 開拓モデル事業	上限 300万円	9/15(木) 消印有効
第10回かめのり賞	公益財団法人 かめのり財団	国際交流・協力に関わる 活動等	副賞 100万円	9/16(金)必着
2016年度国内助成 プログラム	公益財団法人 トヨタ財団	地域課題の発掘調査、 事業立ち上げ等	(経費の1/2) 上限 100万円	9/30(金) 15:00まで

電力自由化ってなに？
自然エネルギーってなに？

日時：9月24日(土)10:00~12:00

集合：9:30 京王堀之内駅

会場：ユギムラ牧場

(八王子市堀之内 900-1)

講師：一般社団法人

八王子協同エネルギー

参加費：無料

定員：20名(申込先着順)

申込先：TEL042-646-1577 FAX042-646-1587 メール npo802@shiencenter-hachioji.org

※アクティブ市民塾は、NPO さぽーと 802 (はちおうじ) 八王子市民活動支援センターの事業です



八王子協同エネルギー (はちエネ)は、地域の資源をいかした再生可能エネルギーの導入や、省エネルギー普及に関する事業を行い、エネルギーの地産地消を目指している法人です。

今回は、市民の共同出資によるソーラー発電所を設置したユギムラ牧場で、

- ☑電力自由化などエネルギーをとりまく現状
- ☑市民発電所のしくみや里山エネルギーの活用など活動の紹介

を聞き、私達の生活に欠かすことのできないエネルギーについて考えます。



NPO・市民活動イベント情報

イベントの詳細については、各団体にお問合せ下さい

イベント	日時	会場	内容	主催	申込先	備考
中町花街灯りプロジェクト	9/17(土) 19:00-21:00	中町花街	灯籠に見立てたカップ燐燭の幻想的な灯りと、中町芸妓衆の流し踊りをお楽しみください	中町地区まちづくり協議会		流し踊りの時間は未定
八王子シニアカレッジ講演「八王子センター元気の昨日 今日明日」	9/18(日) 14:00-15:30	NPO さぽーと 802	八王子センター元気が行ってきた活動(老人施設へのボランティア活動やその活動の為の教育等)及び今後を紹介	八王子高齢者活動コーディネーター会(ハコー会)	090-4934-8707 FAX 042-675-9649 hasshuu.w@gmail.com (渡辺)	参加費 500円 講師：八王子センター元氣伊藤代表
八王子マンドリンプリモ第19回定期演奏会	9/19(月・祝) 14:00-16:00	オリンパスホール 八王子	演目：365日の紙飛行機、異邦人、碧空、浜辺の歌、荒城の月幻想曲、未完成交響曲、海の狂詩曲他	八王子マンドリンプリモ	TEL/FAX 042-649-8114 (志村)	先着 1,800名 参加費無料
八王子・日野カワセミ会30年記念八王子・日野の野鳥展	9/23(金)~ 9/28(水) 10:00-20:00	八王子市学園都市センター	調査からみた野鳥の増減等のパネル展示、野鳥の写真、バードカービング、小学生が描いた絵、プローチ作り等	八王子・日野カワセミ会	042-635-6886 k.kadoguchi4483@jcom.zaq.ne.jp (門口)	参加費無料 初日 13:00から最終日は 15:00まで
若者かんたんクッキング	9/24(土) 14:00-16:30	クリエイトホール	対象：18歳から39歳までの若者 野菜がメインのバランスのとれた料理をみんなで楽しく作り学ぶ	八王子地域活動栄養士会	090-8486-6531 pu382dskmx@i.softbank.jp(内山)	定員 16名 参加費 800円
おだやか介護を介護歴28年の講師に学ぶ	10/1(土) 14:00-16:00	多摩平の森ふれあい館	認知症介護が楽になる、穏やか介護の4つの方法を学びます	つどい場 さざんか	TEL/FAX 042-581-3739 sazanka3739@aroma.ocn.ne.jp	定員 70名 参加費 1,000円
公開探鳥会	10/9(日) 8:30-12:00 (予定) 雨天中止	京王線長沼駅前	浅川の堤防を歩きながら秋の渡りの野鳥や冬鳥を探し観察します	八王子・日野カワセミ会	090-4956-3203 tetsat@gb3.so-net.ne.jp(佐藤)	申込不要 参加費 200円 (小・中学生無料)
第2回 おとなが楽しむお手玉あそび大会	10/12(水) 13:30-15:30	八王子労政会館	子どもの頃の懐かしいお手玉あそび 新しい遊びも体験しながら仲間と交流し、笑顔と健康を繋ぐ	日本のお手玉の会 八王子支部 八王子お手玉の会	090-8816-3882 (鈴木)	先着 50名 参加費 500円
2016 ビデオフェスタ 802	10/29(土) 13:00-17:00	北野市民センター	アマチュアが作ったビデオ作品の上映会(旅行、イベント等)詳細は「映像802」で検索	映像 802	042-644-1092 yoh@takahashi-jpn.com(高橋)	申込不要 参加費無料
ありこさんの紙芝居ミュージカル「てじ」	11/5(土) 15:20-16:20	クリエイトホール	「てじ」とは手だけが白い利口な子ザル。悲しくも温かい猿ヶ京温泉の民話をご家族でどうぞ	NPO 法人八王子子ども劇場	TEL/FAX 042-645-1739 hkg-npo@mua.biglobe.ne.jp	子供・3才~1,200円 高校生以上 1,500円 親子券あり
チャイルドライン受け手養成研修	11/5(土)~ 3/18(土) 全11回	由井第一小学校(予定)	電話を通じて子どもの声を聴き、気持ちに寄り添う受け手養成研修開催。修了生を対象に、チャイルドラインの受け手・運営スタッフ募集	NPO 法人 八王子チャイルドライン	TEL/FAX 042-627-1398 hachioji@coccoro.net	全回通して 7,000円 学生 6,000円 1回 700円